JIS

液圧用の鋼線
又は繊維補強ゴムホースアセンブリ

JIS B 8360：2015

（JHCA/JSA）

平成 27 年 10 月 20 日　改正

日本工業標準調査会 審議

（日本規格協会 発行）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本工業標準調査会標準第一部会 産業機械技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
（委員会長）	髙 田 祥 三	早稲田大学
（委員）	綾 部 統 夫	一般社団法人日本機械工業連合会
	岩 見 吉 輝	国土交通省総合政策局
	梅 崎 重 夫	独立行政法人労働安全衛生総合研究所
	小 菅 文 雄	一般社団法人日本産業機械工業会
	齋 藤 明 徳	日本大学
	眞 田 一 志	横浜国立大学
	髙 辻 成 次	一般社団法人日本航空宇宙工業会
	田 中 文 基	北海道大学
	寺 田 進	株式会社神戸製鋼所
	平 岡 弘 之	中央大学
	藤 田 俊 弘	IDEC 株式会社
	松 尾 亜紀子	慶應義塾大学
	松 田 三知子	神奈川工科大学
	山 田 知 夫	日本内燃機関連合会
	山 田 陽 滋	名古屋大学

主 務 大 臣：経済産業大臣　　制定：昭和 48.12.1　　改正：平成 27.10.20
官 報 公 示：平成 27.10.20
原 案 作 成 者：日本ホース金具工業会
（〒105-0004　東京都港区新橋 6-11-13　つゆきビル　TEL 03-3578-8321）
一般財団法人日本規格協会
（〒108-0073　東京都港区三田 3-13-12　三田 MT ビル　TEL 03-4231-8530）
審 議 部 会：日本工業標準調査会　標準第一部会（部会長　酒井　信介）
審議専門委員会：産業機械技術専門委員会（委員会長　髙田　祥三）

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課（〒100-8901　東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

目　次

ページ
序文 1
1　適用範囲 1
2　引用規格 1
3　用語及び定義 2
4　ホースアセンブリの種類及び使用継手 2
4.1　種類 2
4.2　使用継手 3
5　ホースアセンブリの性能 3
6　構造 3
6.1　構造一般 3
6.2　ホースと継手との組合せ 4
7　寸法及び許容差 5
7.1　ホースの内径及び外径 5
7.2　ホースアセンブリの長さ 5
7.3　ホースアセンブリの長さの許容差 7
7.4　両端曲り継手の取付角度 7
8　最小曲げ半径 7
9　試験方法 9
9.1　耐圧性試験 9
9.2　破壊圧力試験 9
9.3　衝撃圧力試験 9
9.4　負圧試験 9
10　検査 10
10.1　一般事項 10
10.2　形式検査 10
10.3　受渡検査 10
10.4　その他の検査 10
11　製品の呼び方 10
12　製品表示 10
13　保管及び包装 11
13.1　一般事項 11
13.2　包装 11
13.3　防せい処理 11
13.4　保管場所 11
13.5　保管状態 11

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

ページ
13.6　使用順序 …… 11
解　説 …… 12

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は，工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき，日本ホース金具工業会（JHCA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から，工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり，日本工業標準調査会の審議を経て，経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって，**JIS B 8360**:2000 は改正され，この規格に置き換えられた。

この規格は，著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が，特許権，出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は，このような特許権，出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について，責任はもたない。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

白　　紙

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本工業規格　　JIS
B 8360：2015

液圧用の鋼線又は繊維補強ゴムホースアセンブリ

Rubber hoses assemblies—
Wire- or textile-reinforced single-pressure types for hydraulic applications

序文

この規格は，1973 年に制定され，その後 6 回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は 2000 年に行われたが，その後，次の日本工業規格の制定及び改正に伴い，これらの規格との整合性を配慮し，改正した日本工業規格である。

JIS B 8363　液圧用ホースアセンブリの継手金具及び附属金具

JIS K 6349　液圧用の鋼線又は繊維補強ゴムホース

なお，対応国際規格は現時点で制定されていない。

1　適用範囲

この規格は，鋼線又は繊維で補強した液圧用ゴムホース及び継手金具（以下，継手という。）によって構成する液圧用のゴムホースアセンブリ（以下，ホースアセンブリという。）について規定する。この規格は，呼び径 5～76，最高使用圧力 3.5 MPa～42 MPa，温度範囲－40 ℃～＋100 ℃（グレード A 及び B），又は－40 ℃～＋120 ℃（グレード C 及び D）の範囲で用いるホースアセンブリに適用できる。適用流体は，通常，作動油 HH，HL，HM，HR 及び HV である。

注記　**ISO 6743-4** では，作動油の HH，HL，HM，HR 及び HV を，次のとおり定義している。

HH　：無添加鉱物油
HL　：HH にさび止め剤と酸化防止剤とを配合したもの
HM　：HL に耐摩耗性を付加したもの
HR　：HL の粘度指数を向上したもの
HV　：HM の粘度指数を向上したもの

2　引用規格

次に掲げる規格は，この規格に引用されることによって，この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 8363　液圧用ホースアセンブリの継手金具及び附属金具

JIS K 6330-1　ゴム及びプラスチックホース試験方法－第 1 部：ホース及びホースアセンブリの寸法測定

JIS K 6330-2　ゴム及びプラスチックホース試験方法－第 2 部：ホース及びホースアセンブリの耐圧性

JIS K 6330-3　ゴム及びプラスチックホース試験方法－第 3 部：ホース及びホースアセンブリの耐負

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。